

サステナビリティに向けた取り組み

特定された「大塚グループのマテリアリティ」の12の社会課題の中から、現在特に重要視している9つの社会課題を選定し、2023年度の目標を設定しました。

マテリアリティ	社会課題	目標	2023年度の目標	2019年度の進捗	
社会	健康	• 満たされていない医療・健康ニーズの存在	• アンメット・ニーズ解決への貢献	<ul style="list-style-type: none"> アンメット・ニーズ解決に向けた研究開発促進 アンメット・ニーズ領域^{*1}における <ul style="list-style-type: none"> 新規開発プロジェクト：10プロジェクト以上 後期開発プロジェクトのフェーズアップ：30プロジェクト以上 	<ul style="list-style-type: none"> 3年連続 医療関連事業の研究開発費比率20%以上(対売上収益) アンメット・ニーズ領域^{*1}における <ul style="list-style-type: none"> 新規開発プロジェクト：1プロジェクト 後期開発プロジェクトのフェーズアップ：6プロジェクト
		• 感染症の蔓延	• 結核の撲滅	<ul style="list-style-type: none"> 延べ6万例分以上の「デルティバ」(一般名：デラマニド)の提供 「デルティバ」小児製剤の提供開始 新規治療レジメンの臨床試験の開始 パートナーと協業での「デルティバ」のアクセス拡大 	<ul style="list-style-type: none"> 約2万例分の「デルティバ」の提供 「デルティバ」が使用可能な国数が100カ国・地域以上に拡大 米国立衛生研究所(NIH)による多剤耐性結核に対するデラマニドの予防効果を確認する大規模臨床試験の開始 GHIT Fundへの継続参画
		• 栄養ニーズの存在	• 健康なくらしの実現のための仕組み作り	<ul style="list-style-type: none"> 健康なくらし実現のための新たな仕組み作りと既存の仕組みの強化 環境変化を見据えた新しいコンセプト、新製品の創出 新カテゴリーおよび新エリア展開 	<ul style="list-style-type: none"> 47都道府県と連携協定締結し、健康などの分野で協働を推進 「女性の健康セミナー」の継続開催 食育アプリ「おいしいおえかき SketchCook」 「ネイチャーメイド サプリメントチェック」の継続提供 「OTSUKAまんがヘルシー文庫」創刊30周年 OATHAS^{**2}の登録者数：延べ約18,000名 ミャンマーに健康飲料事業の新会社を設立
	人材	• 多様化への未対応	<ul style="list-style-type: none"> 創造意欲を喚起する企業風土の醸成 従業員エンゲージメントの強化 	<ul style="list-style-type: none"> 企業文化・理念のさらなる浸透 社会・時代の変化にも対応した継続的な人材育成の仕組み作り イノベーションの源泉ともなるダイバーシティのさらなる促進・浸透 より働きやすい環境整備のための新たな仕組みの構築 	<ul style="list-style-type: none"> 大塚グローバルアカデミー(OGA)の経営人材育成プログラム 延べ参加人数：141名 ファミリースマイルサポート制度、勤務間インターバル制度をグループで導入 健康セミナー延べ参加人数：1,050名
	品質	• 持続可能性を損なう消費・生産	• バリューチェーン全ての段階での持続可能性の追求	<ul style="list-style-type: none"> SAQ^{**3}実施会社数：200社 CSR調達 サプライヤー説明会開催数：30回(または30社)以上(2021年度から開始) 	<ul style="list-style-type: none"> SAQ実施会社数：延べ34社 「グローバル生産会議」や「環境経営情報交換会」の実施 「グローバルプロダクトオリティ会議」の実施 お客さまの声をもとした製品改善の実施 食品ロス削減に向けた取り組みの実施
	環境	気候変動	• 地球温暖化	<ul style="list-style-type: none"> 2030年目標：CO₂排出量を2017年比30%削減 	<ul style="list-style-type: none"> 再生可能エネルギーの導入とCO₂フリー電力の使用比率の向上
資源共生		• 環境負荷の増大	<ul style="list-style-type: none"> 2030年目標：単純焼却・埋立を2019年比50%削減 2030年目標：PETボトルにおけるリサイクル原料および植物由来原料の使用割合 50%以上 	<ul style="list-style-type: none"> 単純焼却・埋立量削減のための連携強化 リサイクル原料および植物由来原料の使用割合向上に向けたグループ間の体制構築 	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物の再資源化量のグローバルデータの標準化と把握
水資源		• 水リスクによる淡水の利用可能量減少	<ul style="list-style-type: none"> 2030年目標：水の利用率を2017年比15%改善 	<ul style="list-style-type: none"> 国や地域によって偏在する水リスクに沿った水利用効率の向上 	<ul style="list-style-type: none"> Aqueduct^{**4}を用いた水リスク評価の実施 各生産拠点における水利用アンケートの実施と課題の明確化
ガバナンス	• 社会変化によって生じるリスク	• 長期的な企業価値向上	<ul style="list-style-type: none"> さらなる実効性を高めるため、コーポレートガバナンスの強化 グローバルな事業展開および多様な変化に対応するガバナンス体制の構築 グループでのコンプライアンス強化に向けた体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> 「譲渡制限付株式報酬制度」導入 海外子会社モニタリング強化のためのGBS部^{**5}の活動本格化 取締役の実効性向上のための改善活動 取締役会の出席率：100% 「グローバル腐敗防止規程」および「グローバル利益相反ポリシー」の制定 	

※1 アンメット・ニーズ領域は、PatientsMap2019JP、PatientsMap2018USM3 & SSRIをもとに自社で定義

※2 大塚ヘルシーエイジングサポーター養成プログラム(Otsuka Advanced Training for Healthy Aging Supporter) 地域に密着した健康情報拠点としての薬局を支援するプログラム

※3 CSR調達セルフアセスメント質問表

※4 Aqueduct Water Risk Atlas世界資源研究所(World Resources Institute) が開発した水リスクのマッピングツール

※5 グローバルビジネスサポート(Global Business Support) 部